

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

1. 建物概要								
建物名称	青海製作所第二工場							
建設地	南区 下曲通字中江下733番1							
用途地域	市街化調整区域							
建物用途	事務所, 工場							
竣工年	2011年11月 竣工							
敷地面積	18,947.59 m ²							
建築面積	2,882.72 m ²							
延床面積	2,929.45 m ²							
階数	地上2F							
構造	S造							
評価の段階	竣工段階評価							
評価の実施日	2012年3月5日							
2. CASBEE新潟の評価結果								
		B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{44}{43} = 1.0$					
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★								
3. 新潟市の重点項目の評価								
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	平均スコア 2.3		バリアフリー	Q2.1.1.3	1.0			
			維持管理	Q2.1.3	3.0			
			更新性	Q2.3.3	3.0			
			2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	平均スコア 3.0		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	3.0			
			3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	平均スコア 3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
			4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.5		建物の熱負荷抑制	LR1.1	4.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0			
			5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 3.5		節水	LR2.1.1	-
						リサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0
再利用可能性向上	LR2.2.6	4.0						
			6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.5		生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0
						敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	4.0
						7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	平均スコア 2.5	
						地域性への配慮, 快適性の向上	Q3.3.1	2.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項								
生産ラインの多様化に対応できるように工場は25mスパンの無柱空間とし桁行き方向の増築を容易にしている。敷地内に調整池を設け雨水の流出を抑制している。工場、事務棟とも窓を大きくとり自然採光、及び通風を考慮した。								

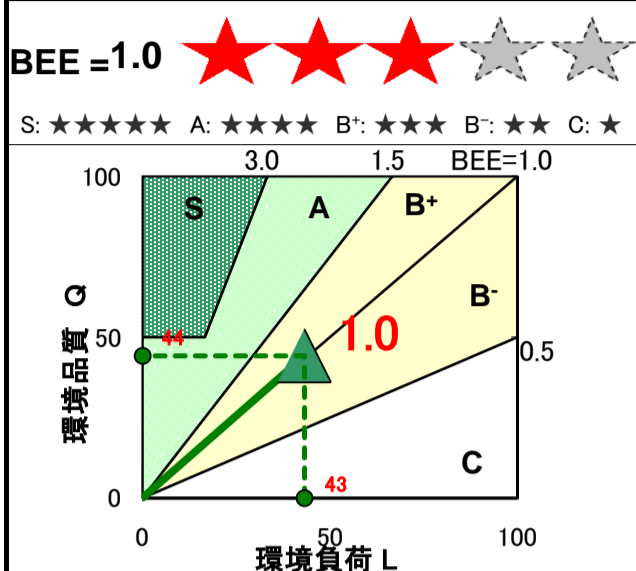
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE®新潟

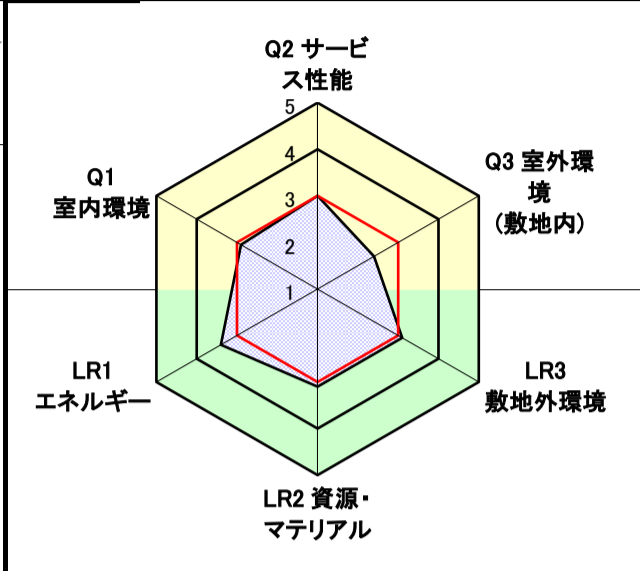
評価結果内訳

■使用評価マニュアル：CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築（簡易版）2008年版 使用評価ソフト：CASBEE新潟(v.1.2)

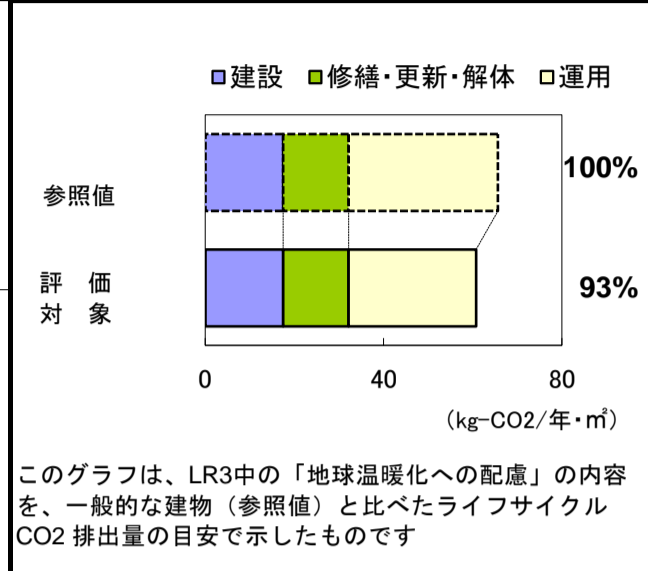
2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



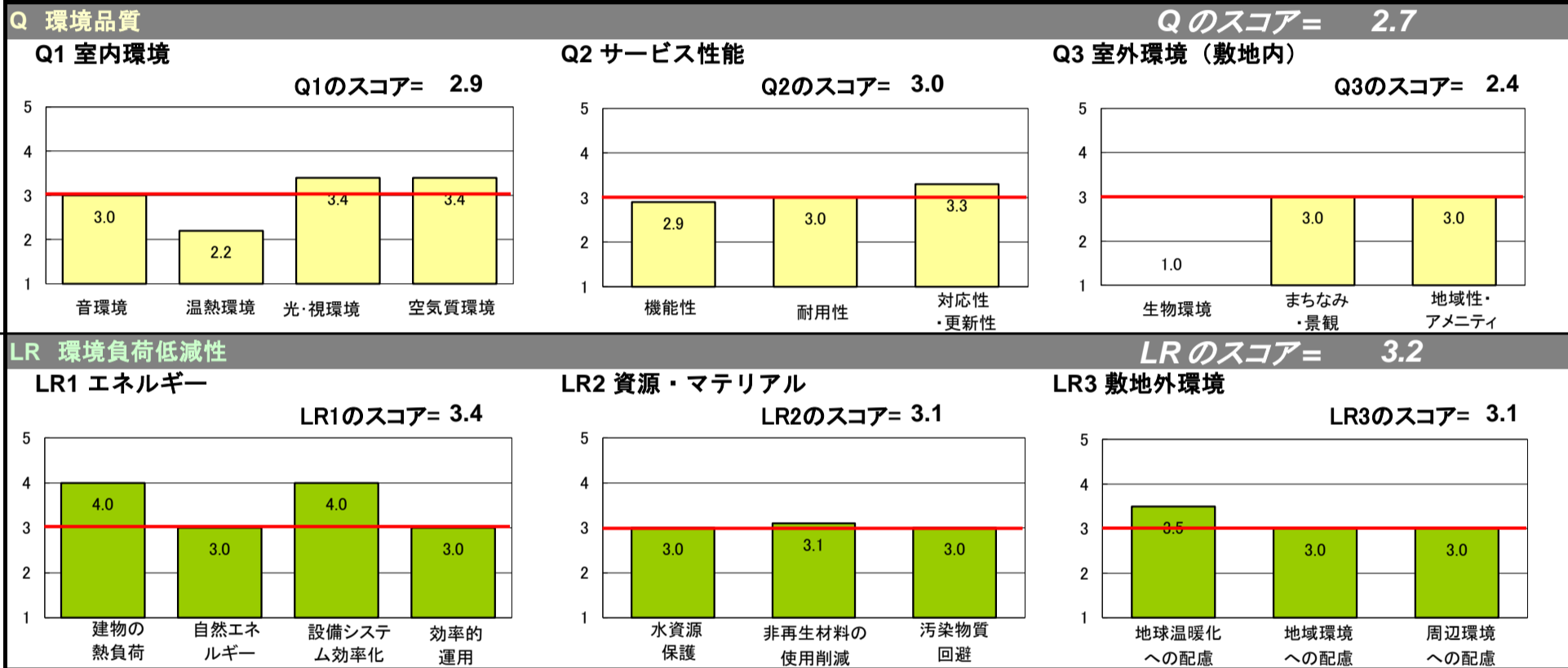
2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価 (バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>機械部品製作工場に求められる機能を優先し、コストパフォーマンスを重視した計画である。また大きな建物が周りに与える影響を考慮し、無彩色のシンプルな形状を意図した。</p>	<p>その他</p> <p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>事務所は窓を大きく計画し、自然採光を重視した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>工場は様々な生産ラインに対応できるように2.5mスパンの無柱空間とし、桁行き方向の増築を容易にしている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>配慮は特にしていない。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>配慮は特にしていない。</p>
	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>大きな工場部分のボリュームが周囲に圧迫感を与えないように、外観を無彩色の軽やかな表現とした。また敷地周囲を植樹による緑地帯とした。</p>
	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>配慮は特にしていない。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される